



次回の
上映作品
「ドラえもん
のび太の魔界大冒険」

(1984年東宝・上映時間1時間40分)

のび太が‘もしもボックス’で作った「魔法が科学の代わりに発達した世界」を舞台に、地球滅亡の危機を救うため、魔界に立ち向かうドラえもん仲間たちの活躍を描いた、夢と希望と感動の大冒険ファンタジー。

【と き】

12月29日(金)・30日(土) 10:20～

1月1日(月)・2日(火) 12:20～

1月3日(水)～8日(月) 10:20～、12:20～

(※12月31日(日)は休館)

【入場料】 大人(高校生以上) 500円
子ども(中学生以下) 100円
3歳未満 無料

🎬 上映リクエスト募集中

“もう一度、映画館であの作品を見たい” そんな思い出の映画はありませんか。

上映映画リクエスト用紙は、本渡第一映劇、天草市民センター、牛深総合センター、本庁・文化課(天草宝島国際交流会館ポルト内)、各支所などに備え付けているほか、同事業ホームページからも応募できます。

リクエストして、スクリーンでお気に入りの映画を楽しみましょう。

天草市民シアター

本渡第一映劇は、全国的にもめずらしいフィルム映画が上映できる映画館です。そのため、全国各地から映画ファンが訪れています。山田洋次監督の「家族はつらいよ2」をフィルムで上映した映画館は全国でここだけです。

フィルム映画の良さをぜひ、市民シアターで感じていただきたいです。



本渡第一映劇支配人
柿久 和範氏

フィルム映画の良さを見て感じてほしい

市民シアターでは、映画好きの選定委員が見てほしい映画をリストアップしています。「どのような作品がいいのか分からない」「好きなジャンルが決まっている」という人に見てもらって、いろんな作品を楽しんでほしいです。500円で映画館で見られるなんて他にはありません。昔の映画を昭和レトロな映画館で見ると、より一層楽しめます。市民シアターが映画を楽しむきっかけになればと思います。



上映映画選定委員会委員長
新納 隆子氏

いろんなジャンルを楽しめる市民シアター



ワンコインで楽しむ/ 市民シアター

市では、2年前から天草の映画館で映画を楽しんでもらおうと市民シアター事業に取り組んでいます。今号では、みなさんを映画の世界へご招待します。

市内に唯一残る映画館「本渡第一映劇」。ここが市民シアターの上映映画館です。同館支配人の柿久氏を含む10人の上映映画選定委員会でフィルム映画を中心に、天草を舞台にした作品やリクエストの多かった作品を選んで上映しています。入場料は、大人500円、子ども100円のワンコイン。

これまで、天草出身の小山薫堂氏が脚本した「おくりびと」をはじめ時代劇や青春ドラマ、洋画、アニメなど32本を上映しています。市民シアターに関わる3人にお話を聞きました。

特別な空間で映画を楽しんで

“映画館に行く”という行動をとるところから映画の楽しみは始まります。自宅でも見ることはできますが、映画館という特別な空間で、場の雰囲気を感じながら見る映画は違います。見終わった後の映画談議も楽しみのひとつです。

映画は視野を広げ、心を豊かにしてくれます。気軽に楽しんでほしいです。



上映映画選定委員
(本渡第一映劇サポーター)
加藤 晶子氏

